



令和3年度決算の概要



名古屋高速道路公社

目 次

◆ 令和3年度決算のポイント	1
◆ 令和3年度損益計算書の概要	2
◆ 令和3年度貸借対照表の概要	3
＜参考資料＞	
◆ 会計処理の特徴	4

◆令和3年度決算のポイント



■令和3年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

- ① 道路料金収入は、前年度から23億円減少し、647億円となりました。
- ② 道路管理費は、前年度から22億円増加し、316億円を充てました。
対距離料金制のためのETC関連機器改修、大規模修繕などを実施しました。
- ③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度から34億円減少し、265億円を繰り入れました。
償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度から265億円増加し、7,719億円となりました。

◆ 令和3年度損益計算書の概要

(単位:百万円)

費用の部					収益の部				
勘定科目	3年度	2年度	前年度比		勘定科目	3年度	2年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	31,806	30,316	1,491	104.9	業務収入	65,110	67,652	△ 2,542	96.2
道路管理費	31,583	29,424	2,159	107.3	道路料金収入	64,725	66,996	△ 2,270	96.6
(内消費税納付金)	(3,433)	(3,527)	(△94)		マイレージ還元負担金収入	121	530	△ 410	22.7
貸倒引当金繰入	+0	1	△0	34.6	マイレージ引当金戻入益	185	8	178	2,382.3
マイレージ還元負担金	223	891	△ 668	25.0	業務雑収入	79	119	△ 39	66.7
一般管理費	1,689	1,897	△ 208	89.0	業務外収益	105	103	2	102.3
業務外費用	5,269	5,705	△ 436	92.4					
(内借入金利息)	(5,096)	(5,523)	(△427)						
小計(管理費用)	38,764	37,917	847	102.2					
償還準備金繰入	26,451	29,837	△ 3,386	88.7					
合計	65,215	67,755	△ 2,539	96.3	合計	65,215	67,755	△ 2,539	96.3

(注) 端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

- 収益の状況…○ 収益の総額は652億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。
 - お客様からの道路料金収入は、前年度から23億円の減少となりました。

- 費用の状況…○ 費用の総額は、652億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金收受などに要した道路管理費316億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)53億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入265億円となっています。
 - 道路管理費は、前年度から22億円の増加となりましたが、これは修繕費の増加によるものです。
 - 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から34億円の減少となりました。

◆ 令和3年度貸借対照表の概要



(単位:百万円)

勘定科目	資産の部				勘定科目	負債及び資本の部			
	3年度	2年度	前年度比			3年度	2年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流動資産	12,863	19,460	△ 6,598	66.1	流動負債	68,024	80,808	△ 12,784	84.2
現金・預金など	6,183	12,022	△ 5,839	51.4	1年以内返済予定長期借入金※	57,910	66,928	△ 9,018	86.5
未収金	6,680	7,440	△ 760	89.8	未払金など	10,114	13,880	△ 3,766	72.9
貸倒引当金	△ 0	△ 1	1	34.6	固定負債	536,021	554,882	△ 18,861	96.6
固定資産	1,681,686	1,678,962	2,723	100.2	名古屋高速道路債券※	422,500	420,000	2,500	100.6
道路	1,678,380	1,674,969	3,411	100.2	政府借入金※	47,444	58,872	△ 11,428	80.6
道路建設仮勘定	3,015	3,571	△ 555	84.4	県・市借入金※	43,504	52,491	△ 8,987	82.9
有形固定資産など	290	422	△ 132	68.7	長期借入金など※	14,513	15,328	△ 815	94.7
繰延資産	980	1,009	△ 30	97.1	退職給与引当金	985	930	54	105.9
					ETCマイレージ引当金	54	239	△ 185	22.6
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	771,945	745,493	26,451	103.5
					償還準備金	771,945	745,493	26,451	103.5
					基本金(県・市出資金)	319,538	318,248	1,290	100.4
資産合計	1,695,528	1,699,432	△ 3,904	99.8	負債・資本合計	1,695,528	1,699,432	△ 3,904	99.8

(注)端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

- 資産の状況…○資産の総額は1兆6,955億円となっています。このうち道路資産は1兆6,784億円であり、資産全体の99%を占めています。
 - 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆6,955億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金5,859億円※、元金返済に充てた償還準備金7,719億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,195億円となっています。
- 建設に要した借入金につきましては、全額、お客様からの料金収入で返済していくものです。

◆ 会計処理の特徴

- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。